

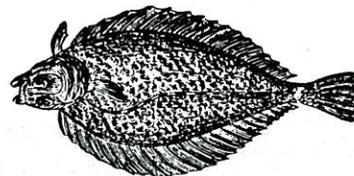
ヌマガレイ

分類：カレイ目 カレイ亜目 カレイ科
 学名：*Platichthys stellatus*
 英名：Starry floundei

太平洋では日本中部以北から北米沿岸にかけて広く分布し、大西洋ではアイスランド、北海から地中海、黒海にかけて広く分布する。体型は菱形でイシガレイの長円形とは対照的である。背鰭、しり鰭、尾鰭の軟条に沿って、黒い条紋があって他属とは容易に識別される。日本産のヌマガレイはカレイに属しながら、眼の位置がヒラメのように体の左側にあるので有名であるが、北米沿岸のものは生息する海域により眼の位置が異なり北に行くほど、ヒラメ型が増加する。海洋のみならず汽水や淡水の湖沼河川で生活し、2~3月、水温が4~5℃になった頃海にでて産卵する。全長90cm。肉はあまり美味ではないが、煮付や、フライ、バター焼などで賞味される。



P. flesus ヌマガレイの一種



カラスガレイ

分類：カレイ目 カレイ科
 学名：*Reinhardtius hippoglossoides*
 英名：Greenland halibut

相模湾以北と日本海沿岸、北太平洋、北大西洋、北極海に広く分布し、水深50m~2,000mの海底に生息する。体形は階円形で体高はやや低め、眼隔域は広く上眼は頭部縁辺からはみ出している。有眼側は暗褐色で、無眼側は淡い黄褐色。スケトオダラ、イカ、甲殻類を捕食する。9~12月が産卵期。主に底引き網で漁獲される。肉は白色でやや水っぽい。煮付、フライ等、重要産業種。体長40cm位なるも1mを越すものも見られる。

